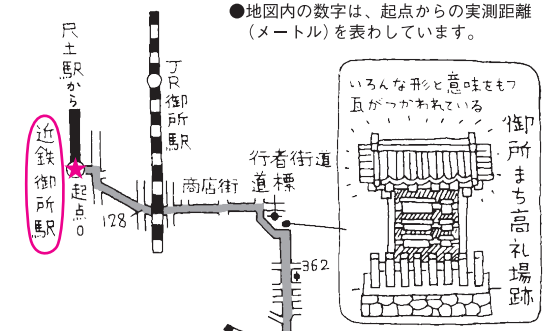
てくてくまっぷ 奈良－18

●地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。



コースのあらまし　御所まちを抜け鴨都波神社から「秋津洲の道」を辿る。田園地帯を進み、国道を渡って左折。室宮山古墳から里中の道を東に向かい、4705地点の国道を北へ渡ると集落の奥に琴弾原白鳥陵。北上して病院前で秋津洲の道から離れ、鐘子塚古墳の手前を右へ。ブドウ畑を過ぎて6864地点から国見山山頂へ。山頂から国見神社を経て常夜燈へと下り道。常夜燈を右折し、その先を右折するとクスリ資料館。ここから今住集落となる。T字路を左折、ＪＲ線高架を潜って進み突き当たって左折すると、左手に市尾宮塚古墳や市尾墓山古墳。国見山を除けば、全行程ほぼ平坦な歩きやすい道だ。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。

鴨都波神社　桜井市の大神神社別宮とも称される名神大社。祭神・積羽八重事代主命は、大国主命の子にあたるという。一般には、商売繁盛の神えびす様として親しまれる。古代の豪族、鴨族との関係が深い神社。

室宮山古墳（室大墓）　全長約238m、５世紀前半に築かれたという前方後円墳。大型埴輪が出土し、葛城地方を支配した豪族にふさわしい規模である。石室への道入口にある八幡神社境内に、室秋津島宮伝承地の碑が立つ。

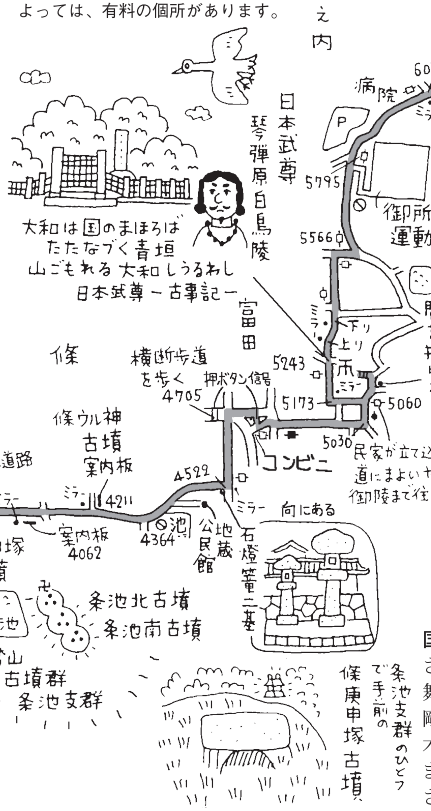
巨勢山古墳群　東西南北３キロ強、巨勢山に散在する古墳群。その数およそ700基、日本最大級である。

琴弾原白鳥陵　「日本書紀」によると、伊勢で亡くなった日本武尊が白鳥となってこの地（琴弾原）に降りたという。国見山の西、集落に囲まれた小さな円墳。

掖上鑵子塚古墳　全長150m、５世紀後半に築かれたと言われる前方後円墳。国見山の尾根の一部を利用した珍しい造り。古代史論争は古くからあったようで、江戸時代には孝安陵・武内宿祢墓・日本武尊陵と諸説があった。

市尾墓山古墳　全長約66m、6世紀の初めに築かれたといわれる前方後円墳。発掘調査ではガラス玉や須恵器が出土した。被葬者は不明だが、このあたりに君臨した豪族と思われる。墳丘はよく整備され、石室内部もガラス窓から見学できる。

●てくてくまっぷはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。



●大阪阿部野橋駅から近鉄御所駅まで約45分（尺土駅のりかえ）
●京都駅から近鉄御所駅まで約１時間20分（尺土駅まで特急利用、橿原神宮前駅・尺土駅のりかえ）
●近鉄名古屋駅から近鉄御所駅まで約２時間35分（尺土駅まで特急利用、大和八木駅・橿原神宮前駅・尺土駅のりかえ）

近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ!→

★は近鉄あみま倶楽部アプリのチェックポイントです。

国見山　神武天皇の国見伝説の舞台とされる標高約230mの小高い山。国見の舞台にふさわしく、山頂からは西に金剛山と葛城山、南に大峯山系、北は杉木立の間から畝傍山や耳成山、若草山まで遠望できる。最近、登山道が整備されて登りやすくなった。

国見神社　神武天皇の曽祖父にあたるとされ、天照大神の命により「天孫降臨」した神でもあるニニギノミコトを主祭神とする神社。かつては国見山の山頂にあったという。

国見山
金剛・葛城・吉野の山を木々の間から見ることができる。また奈良方面も、畝傍・耳成山などが見える。国見神社より約500m

●大阪阿部野橋駅から近鉄御所駅まで約45分（尺土駅のりかえ）
●京都駅から近鉄御所駅まで約１時間20分（尺土駅まで特急利用、橿原神宮前駅・尺土駅のりかえ）
●近鉄名古屋駅から近鉄御所駅まで約２時間35分（尺土駅まで特急利用、大和八木駅・橿原神宮前駅・尺土駅のりかえ）

●約12キロ〔近鉄御所駅～室宮山古墳～国見山～市尾墓山古墳～市尾駅〕

秋津洲の道・国見登山・古墳めぐりコース

このコース地図は2019年5月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪ハイキング係
☎(06)6775-3566

ハイキングのエチケット
※ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
※山火事防止のためタバコに注意しましょう。
※大切な自然です。植物の採集はつつしみましょう。

きれいな思い出　きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行＝近畿日本鉄道（株）
制作・印刷＝（株）アド近鉄
イラストマップ＝宮野耕治
※無断転写禁ず。

近鉄